

	る。また、人の思考や判断などの認知活動や精神的健康と身体との密接な関係性について解説する。適宜、個人ワークおよびグループワークを実施する。
第 4 回	テーマ：医療領域における対象者の心理的理解 急性期、回復期、慢性期、終末期の経過別に、対象者やその家族が抱きやすい感情などの心理的傾向について解説する。
第 5 回	テーマ：医療領域における心理支援 1 心理療法のひとつである来談者中心療法を取り上げる。医療領域における来談者中心療法に基づいた心理支援の事例を提示しながら、支援過程や留意点などについて解説する。適宜、個人ワークもしくはロールプレイングによるグループワークを行う。
第 6 回	テーマ：医療領域における心理支援 2 心理療法のひとつである解決志向療法を取り上げる。医療領域における解決志向療法に基づいた心理支援の事例を提示しながら、支援過程や留意点などについて解説する。適宜、個人ワークもしくはロールプレイングによるグループワークを行う。
第 7 回	テーマ：医療領域における心理支援 3 心理療法のひとつである認知療法を取り上げる。医療領域における認知療法に基づいた心理支援の事例を提示しながら、支援過程や留意点などについて解説する。適宜、個人ワークもしくはグループワークを行う。
第 8 回	テーマ：医療領域における心理支援 4 心理療法のひとつである応用行動分析を取り上げる。医療領域における応用行動分析に基づいた心理支援の事例を提示しながら、支援過程や留意点などについて解説する。適宜、個人ワークもしくはグループワークを行う。
テキスト	授業中に適宜、レジュメ等を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	野口普子（編集）野口普子・矢澤美香子・成澤知美・佐々木洋平・吉田卓矢・遠藤香（著）（2017）.「看護と倫理 患者の心理 第3版」メヂカルフレンド社.
課題に対するフィードバックの方法	レポートを通じて出された授業内容に関する質問やコメントは、適宜授業内で紹介をして回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	授業中に実施する個人ワークやグループワークに積極的に参加する姿勢が求められる。